

## J A足寄町青年部研修会で話題提供を行いました。

十勝総合振興局では、農業生産基盤整備の実施を検討する地域への支援の一環として、市町村・農業者団体等主催の会議において各種話題提供を行っています。平成26年1月17日に帯広市で開催されたJ A足寄町主催の研修会では、『安定経営の一步は生産基盤から』と題して話題提供を行いました。

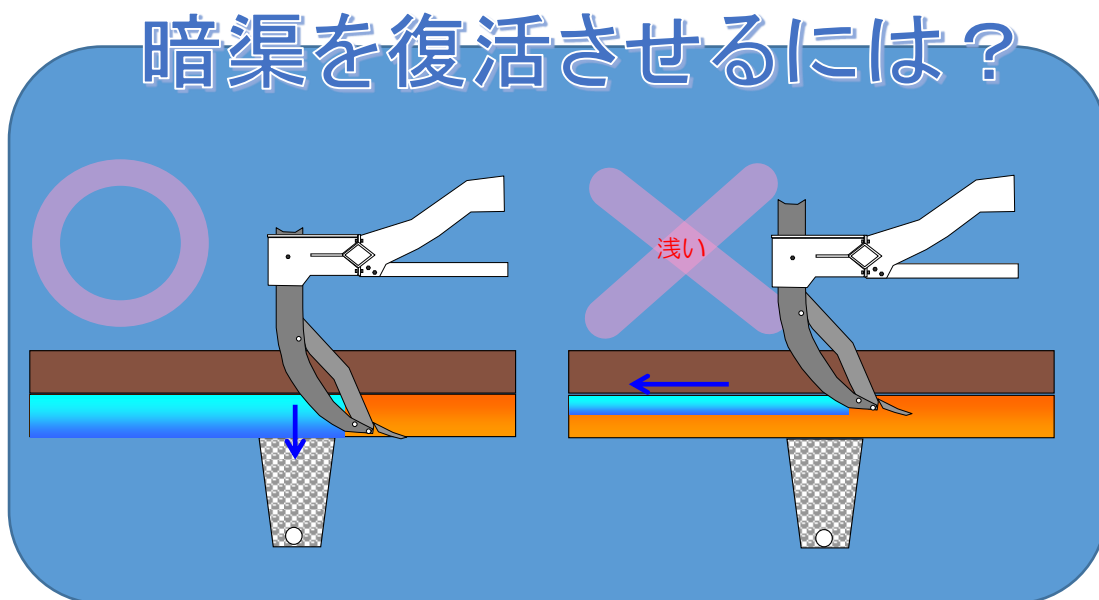
研修会の冒頭、J Aより十勝管内の作物単収や経営規模、基盤整備率等の統計データの紹介があり、農家戸数が年々減少する中、経営耕地の生産性や、分散化や小区画などの問題を生産基盤整備により改善して、経営耕地の拡大に努めたいとの、研修会の趣旨についてお話を頂きました。

振興局からは、安定生産を実現するために排水対策は不可欠であり、近年のゲリラ豪雨や長雨に対して表面排水と地下浸透の組み合わせで対応することが重要であること、営農上の排水対策のポイントなどについて説明しました。

また、草地については定期的な更新により収量を確保することが肝要で、参加者からも、草地面積に比べて頭数の多い現状から、粗飼料の収量確保は重要な問題であるとのコメントも頂きました。

次に、分散化した耕地について、例えば10km離れた耕地への通作に往復で約1時間を費やすという試算を紹介し、こうした状況を少しでも改善して生産効率を高めるためには、地域内の話し合いが重要であることを、他町の事例をもとに説明しました。参加された青年部の皆さんのように、若い担い手の皆さんが中心となり、将来の足寄町の理想像については是非とも地域で話し合ってもらいたいとの願いをこめて、話題提供をさせて頂きました。

話題提供にご協力頂きましたJ A足寄町、足寄町の皆様に感謝いたします。



(当日のスライドから)